「丹波山村らしさ」発見・発信ワークショップ

丹波山村は、山梨県の『市町村らしさ』発見・発信事業のモデル自治体の一つとして、地域らしさの言語化（＝「文化的テロワール」※）に取り組んでいます。これまでのワークショップを通じて、「丹波山村らしさ」について多くの意見が寄せられる中、山に囲まれた環境や、古くから青梅街道を行き交う人々を迎えてきた文化が丹波山村らしさに影響しているのではないかと考えられます。今後は、丹波山村らしさを感じられる地域の魅力を生かしながら、丹波山村はこれからどうあるべきか、また、そのためには何が必要かを考えます。

※自然や風土、歴史、人々の営みから育まれた産褒や文化など地域特性を言語化したもの

丹波山村の魅力を生かして、これからやってみたいことは何ですか？



- 何百年も続く伝統がある
- おいしいものがたくさんある
- やさしさ・寛容さがある
- 挑戦できるチャンスがある
- 小さくてもにぎやか

お松引きやささら獅子舞といった300年以上の歴史を持つ伝統。
決して華美ではないけれど、一度食べれば忘れられない村の味。
それらを支えてるのは、村の人がもつやさしさ・寛容さであり、
にぎやかさであり、挑戦を応援する心意気ではないでしょうか。

▲アンケートフォームからアイデアをお寄せください

担当　丹波山村地域創造課